

<p>【技術の名称】 J-RODブレース 丸鋼を芯材としたピン接合形式の座屈拘束ブレース</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第15-27号 性能証明発効日：2016年3月28日</p> <p>【取得者】 JFEシビル株式会社 JFEスチール株式会社</p>
---	--

【技術の概要】

本技術は、建築物および工作物の耐震部材として用いるピン接合形式の座屈拘束ブレースである。本ブレースは、芯材が丸鋼、拘束材が円形鋼管で構成され、芯材は口金を介してピン支持部材（クレビス）に接合される。拘束材は一端だけが口金に接合され、他端は口金と接合されないが、この部分での不安定挙動を防ぐためのソケット管が設けられている。本技術ではソケット管の挙動を考慮した独自の座屈防止設計法を構築し、これに基づいて本ブレースを設計すれば、想定する軸力に対して座屈しない筋かい材として扱うことが可能となる。

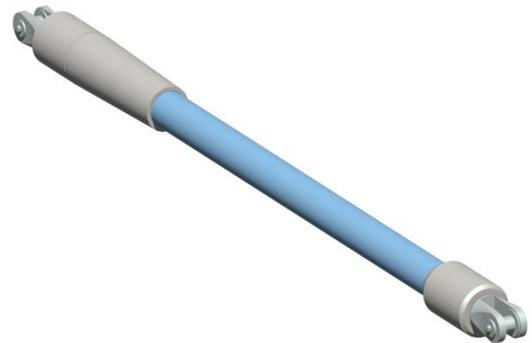


図1 J-ROD ブレースの全体図

【技術開発の趣旨】

本技術は、芯材に丸鋼を用いることで外径を小さく抑え、両端をピン支持条件として外観に配慮した座屈拘束ブレースを提供することを目的として開発された。また、両端をピン接合形式とすることで簡易な現場接合を実現するとともに、ブレース組立時に溶接接合を用いることなく全ての部材が機械的に接合されるため、溶接接合に伴う品質のばらつきを低減することが可能となる。

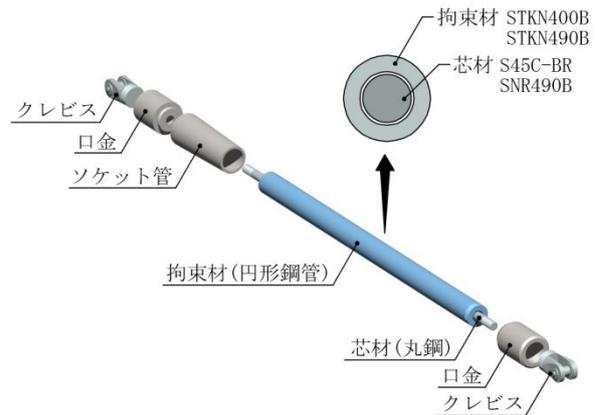


図2 J-ROD ブレースの構成図

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。
 申込者が提案する「J-RODブレース 設計指針」、「J-ROD ブレース製作・品質管理要領書」および「J-ROD ブレース施工要領書」に従って設計・製作・施工された座屈拘束ブレースは、許容応力度等計算において座屈しない筋かい材として扱うことができ、繰返し軸力に対し安定した復元力特性を有する。

【本技術の問合せ先】

JFEシビル株式会社 システム建築事業部 担当者：吉永光寿 E-mail：m-yoshinaga@jfe-civil.com
 〒111-0051 東京都台東区蔵前2丁目17番4号 TEL：03-3864-3580 FAX：03-3864-5844